

【施設分野・施設別 分析・活用シート】

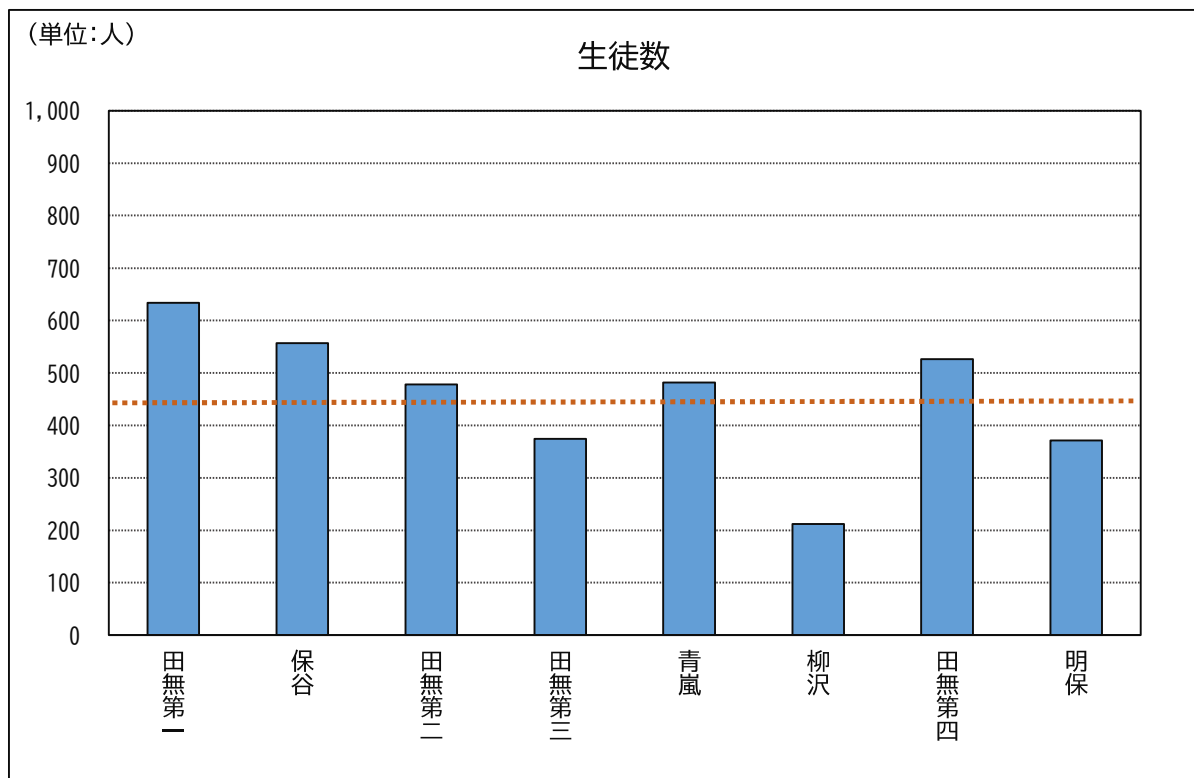
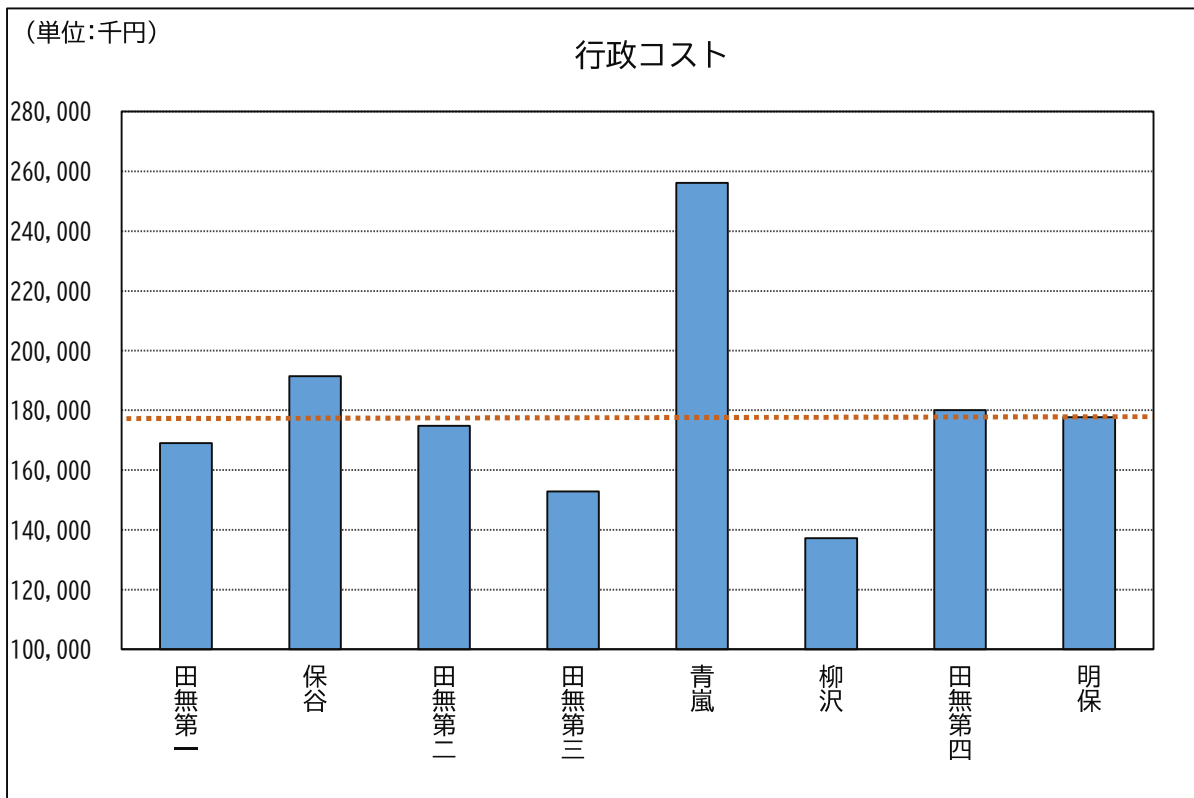
施設分野 中学校

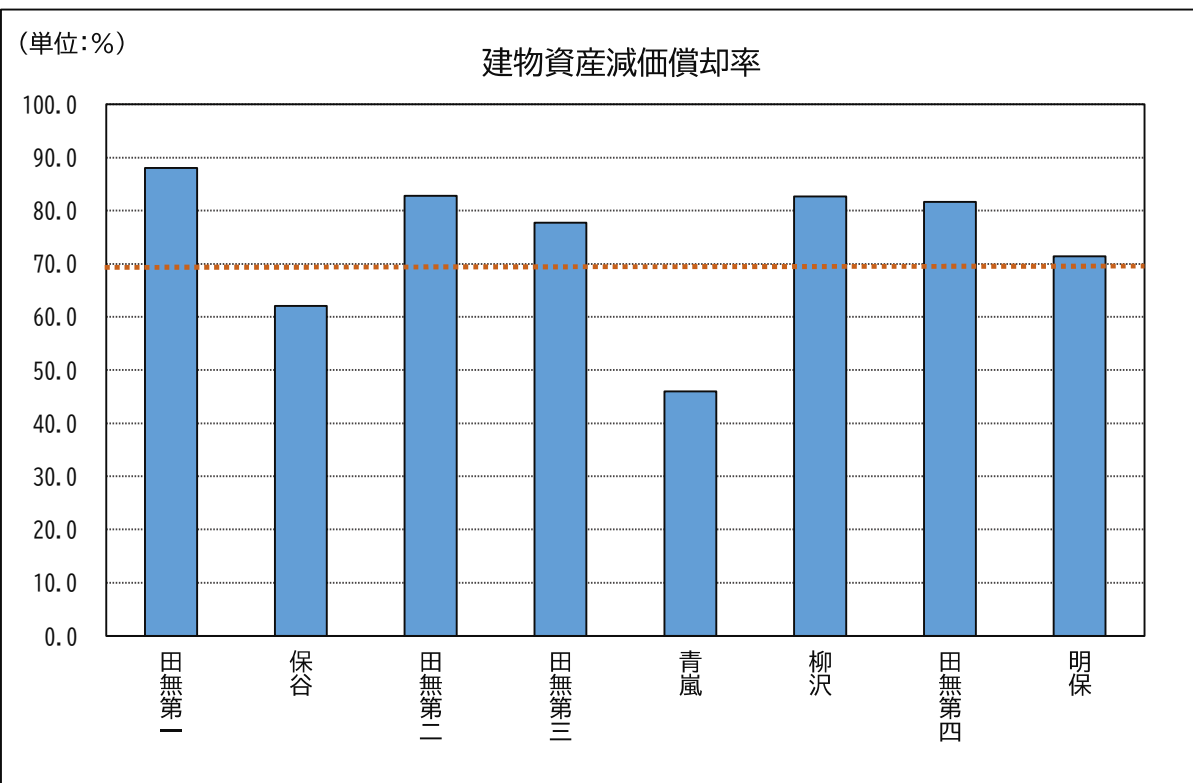
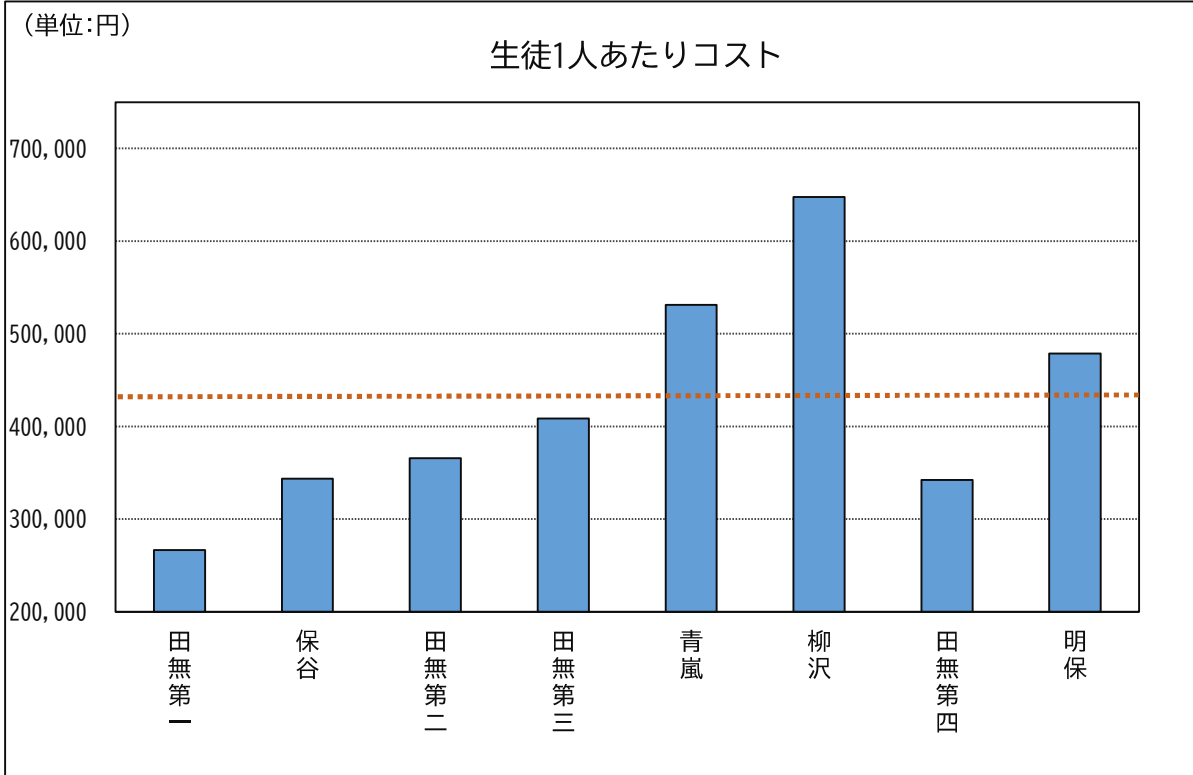
1 分析指標

施設名称	田無第一中学校	保谷中学校	田無第二中学校	田無第三中学校	青嵐中学校	柳沢中学校
行政コスト (千円)	169,018	191,421	174,758	152,863	256,119	137,266
延床面積 (㎡)	7375.60	7407.14	6837.00	5758.00	13290.80	6403.00
1㎡あたりコスト (千円)	23	26	26	27	19	21
生徒数 (人)	634	557	478	374	482	212
生徒1人あたりコスト (円)	266,590	343,664	365,603	408,725	531,367	647,481
建物資産減価償却率 (%)	88.1	62.1	82.8	77.7	46.0	82.7

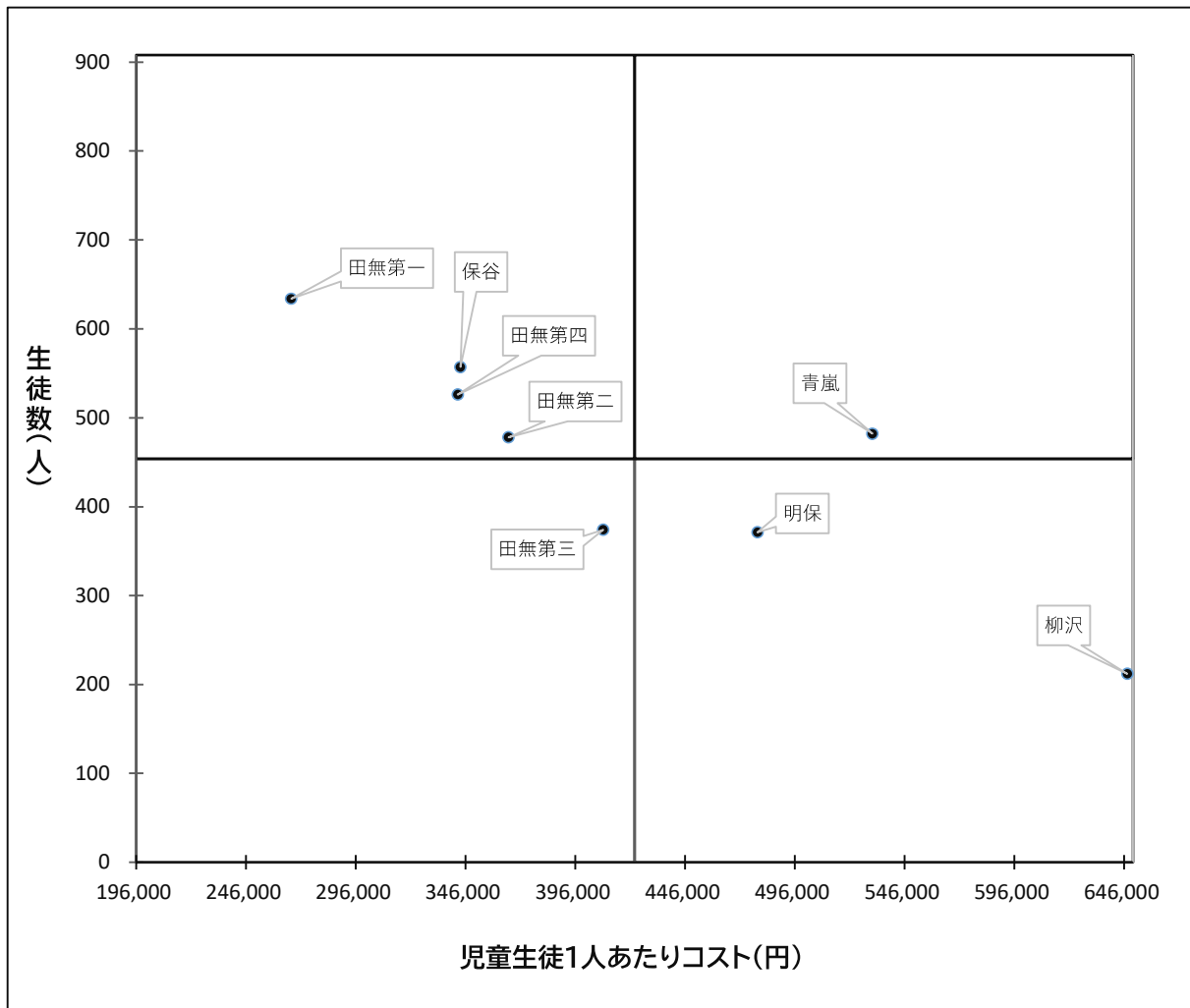
施設名称	田無第四中学校	明保中学校	平均
行政コスト (千円)	180,129	177,696	179,909
延床面積 (㎡)	6,977.00	7,816.00	7,733
1㎡あたりコスト (千円)	26	23	24
生徒数 (人)	526	371	454
生徒1人あたりコスト (円)	342,451	478,965	423,106
建物資産減価償却率 (%)	81.6	71.4	69.4

2 グラフ分析





3 評価グラフ



4 評価グラフから見る主な分析

田無第三中学校	田無第三中学校は、市内西側に位置し、延床面積が同等規模の学校と比較すると生徒数が少ない。
柳沢中学校	柳沢中学校は、市内東側に位置し、延床面積が同等規模の学校と比較すると、生徒数が少なく、生徒1人あたりコストが高くなっている。
青嵐中学校	青嵐中学校は、市内北側に位置し、生徒数が同等規模の学校と比較して、延床面積が大きく、行政コストが高くなっている。

5 現状に対する施設所管課の総括

田無第三中学校	行政コストを他の学校と比較し、コスト削減に取り組む。また、公共施設の再編においては、優先的に検討する必要がある。 今後は、施設の老朽化も進んでいることから、施設再編の方向性について、公共施設等総合管理計画の基本方針に沿って優先的に検討を行う。
柳沢中学校	生徒1人あたりコストが高くなっていることから、また、今後、生徒数の推計では、生徒数が減少していくが、少人数学級の実現に向けて学級数の減少幅は少ない見込みである。公共施設の再編において検討が必要である。また、施設の老朽化も進んでいることから、施設再編の方向性についても、公共施設等総合管理計画の基本方針に沿って検討を行う。
青嵐中学校	延床面積が大きく、行政コストが高くなっている。また、他の学校に無い武道場を設置して、授業、施設開放等、多目的に施設を利用している。今後、学校施設整備については、多目的利用が可能なスペースの設置を標準的なものとしていく取り組みが必要である。

